

平成31年(令和元年)度 自己評価報告書

令和2年3月
岐阜県立多治見看護専門学校

1 本校の概要・・・資料1

本校は、以下の教育理念の下、学生教育を実施している。

「生命の尊厳と人間愛を基盤として、対象を思いやる豊かな人間性を育み、専門知識・技術を教授し、社会のニーズに応え得る能力を養い、安全で安心な医療を担う専門職業人を育成します。」

2 平成31年度 組織目標及び実績・・・資料2・3

(1) 教育環境の充実

- ・2年生・3年生の学習機の更新
- ・第1・第2教室と実習室の黒板のホワイトボード化
- ・学生連絡用一斉メールの整備

(2) 優秀な学生の確保のための広報活動

- ・学校行事終了後、ホームページの内容を更新
- ・高校訪問27校、1年生の母校訪問11校、高校や業者が主催する進学ガイダンスの参加14ヵ所、中学校での講話1校、オープンキャンパス参加者78名+保護者約30名
- ・受験者数はやや減少したものの、県内の受験者数に変化はなし

(3) 新カリキュラムの導入に向けての体制整備

- ・カリキュラム評価ワーキング会議17回
- ・現行のカリキュラムの評価を行い、自校の課題を明確にした
- ・長期休暇を活用し、全教員でカリキュラムツリーを作成

(4) 教員の教育活動の充実、看護実践能力の維持・向上

- ・キャリアラダーの導入
- ・全教員が学会・研修会に参加、伝達講習の実施
- ・岐阜県看護学校教育機関連絡協議会主催の授業参観への参加
- ・2年目教員にプリセプター教員を中心に計画的な支援の実施

3 学校評価項目の達成及び取り組み状況

1) 学校経営

資料4・5

評 価 項 目	評価点
<ul style="list-style-type: none">・学校のビジョンと組織目標を策定し、その目標が教職員に理解されているか。・組織目標に対する評価を実施し、結果を教職員に周知し次年度の目標につなげているか。・学校運営評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知し外部にも公表している。評価結果をもとに改善計画を策定しているか。・管理職のリーダーシップのもと、係長又は教務主任が部署をまとめ問題解決に当たっているか。	4.0

評価点：よい5 ややよい4 普通3 やや不十分2 不十分1

- ・組織目標は職員会議で周知し、全職員で連携しながら問題解決にあたることができた。
- ・学校評価を8月と2月の2回実施した。中間評価結果は職員会議で周知し、後期の学校運営に繋げ、

2月の評価結果を次年度の学校運営目標に繋げた。また学生の学校評価を実施し、その結果を学校運営計画に繋げた。

- ・学校評価結果はホームページで公表した。また、教職員の自己評価だけでなく、新たな取り組みとして、学校関係者評価と学生による学校評価を実施した。

2) 学科運営

資料6～8

評 価 項 目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時に持つべき資質を教育目標に明示するとともに、卒業時の到達目標を分析している。 ・学習内容は教育理念・教育目標と一貫性があり時代の要請に応える内容になっているか。 ・授業計画(シラバス)が作成され教育課程との整合性があり、学生が授業内容を理解できるようにしている。 ・効果的な授業運営を図るため適切に時間割を調整している。 ・授業内容や指導方法が学生レベルに合うように工夫・改善している。 ・学生の単位習得に向けた支援を実施しているか。 ・実習目標が達成されるように実習環境が整備されているか。 ・実習指導者と教員(実習指導教員)の役割を明確にし、お互いに協力し実習指導にあたる体制があるか。 ・学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、評価について公平性・妥当性が保たれているか。 ・実習時の患者への倫理的配慮を励行しているか。 ・実習時のインシデント・アクシデント等を分析し学生指導に活かしているか。 ・学生による授業評価及び教員の自己評価を実施し、授業の改善に努めている。 	<p>3. 7</p>

評価点：よい5 ややよい4 普通3 やや不十分2 不十分1

- ・今年度より卒業生と卒業時の3年生に**カリキュラム評価**を実施し卒業時の到達目標の分析を行った。
- ・授業計画(シラバス)は、シラバス委員会が中心となり、毎年教育課程の評価を行い、学生・講師が授業内容を理解し、活用しやすいように修正している。
- ・第5次のカリキュラム改正に向けて、カリキュラム評価ワーキングを立ち上げ、カリキュラム評価、新カリキュラムの作成に取り組んでいる。
- ・授業内容や方法については、科目終了後に学生による**授業評価**を実施し、その結果も踏まえた上で、教員は総括を実施している。必要時は、総括をもとに教務会で検討し、次年度の授業内容や指導方法の改善に繋げている。
- ・学生が単位習得できるように、年度初めにはガイダンスで学年目標、一年間のスケジュールの確認、科目始めには科目目標と内容、評価について説明をしている。また、未修得単位のある学生については、随時、個別指導を実施し単位取得に向けた支援を密に実施している。
- ・主たる実習施設とは年間5回の**実習連絡会議**、その他41か所の実習施設とは、実習開始前と終了後の2回調整会議を実施し、実習指導者と連携をとっている。しかし実習中に学生が記録するスペースの確保が十分でない施設・部署もあるため、学生が効果的に学べる環境を整えるよう調整していく。
- ・修了認定のための評価基準と方法については、シラバス・実習要綱への記載や一部別紙での公表を行っている。
- ・実習時のインシデント・アクシデントについては学生の分析のみに留まっており、レポートの記載に時間がかかることで、タイムリーな共有に繋がっていない。次年度は迅速な報告・共有と教員の分析を行い、学生指導に活かしていく。

3) 入学・卒業対策

資料 9～17

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの応募者を確保することに努めているか。 ・国家試験の合格者が 100%となるよう教職員一丸となって取り組んでいるか。 ・質の高い卒業生を多く輩出する為の努力を行っているか。 ・卒業生の支援を行っているか。 ・卒業生の県内就職率を高めるように努めているか。 	3. 7

評価点：よい5 ややよい4 普通3 やや不十分2 不十分1

- ・優秀な人材確保に関する事業として、**高校訪問**(27校)、1年生の**母校訪問**(11校)、高校や業者が主催する**進学ガイダンス**の参加(14カ所)、**オープンキャンパス**を実施し、本校の魅力を伝えた。本校の魅力を効果的にアピールするために、学校の特徴やよくある質問などを集約したリーフレットを作成し活用している。
- ・**入学生にアンケート**を実施し、それらの情報を募集の方法等に活かすことができた。
- ・入学案内に、アドミッションポリシー(本校の求める学生像)を記載し、機会あるごとにアドミッションポリシーを説明することで、本校が求める入学生の確保に努めている。
- ・国家試験合格に向けて、3年生は全教員による少人数担当制の指導を実施し、学習面だけでなく精神面での支援を行っている。しかし、一部ではあるが、焦りなどから十分力を発揮できない、最後の追い込みができないなどの課題を抱える学生がみられるため、1年次から支援をしていく方法を検討していきたい。
- ・卒業生の**主な進路**は例年、県内の東濃及び中濃圏域の医療機関への就職が大部分を占め、とりわけ県立多治見病院への就職が、毎年度、全体の過半数を超えている。
- ・卒業生の支援として、本年度より**卒業生交流会**(ホームカミングディ)を8月に実施し22名(63%)の参加があった。卒業生同士、また教員と語ることで、情報交換、リフレッシュの機会となっていた。さらに**就職先への聞き取り調査**を2施設実施し、卒業生の定着につながるよう情報交換を行った。
- ・県内就業に関しては、オープンキャンパスや進学ガイダンスなど入学希望者に説明をしている。入学時のガイダンス、個別の就業相談時にも指導・助言を行った。就職試験が早くなっているため、1年次から長期休暇にはインターシップへの参加を呼びかけ、12月には**先輩と語る会**を開催した。
- ・また、3年生の希望者には模擬面接を行い、採用面接者の意図を理解し、的確に対応できる能力を養うように努めた。

4) 学生生活への支援

資料 18～22

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職などの進路に関して学生の相談に十分応じているか。 ・経済的、精神的側面から学業の継続支援体制が整い、効果的に活用しているか。 ・学生の身体的側面の健康確保に努めている。 ・サークル活動などの学生の自主的な活動を支援している。 	3. 9

評価点：よい5 ややよい4 普通3 やや不十分2 不十分1

- ・**学生生活の実態**について調査を実施した。集計結果は学校評価委員会で共有し、結果を学生の生活・学習などの支援に活用している。
- ・担任・副担任を中心に学生面談・学生指導を行っている。また、実習に関しては実習調整者を中心に支援体制を整えている。必要時は保護者面談、保護者への電話連絡などで、学生の状況説明と支援要請を行った。
- ・学生の定期健康診断の結果を校医に報告し、要受診学生への指導と結果の把握に努めた。日々の学校

生活では教員による学生の健康管理を行い、必要時は校医と連携し専門医への受診等を助言している。

- ・毎月「岐阜県感染かわら版」を掲示し、各種感染症の予防指導を行った。小児感染症の予防接種は、抗体価の結果に基づき、計画的に接種するよう指導し、1年次にほぼ終了できている。
- ・心の不安定な学生が増えており、月1～2回専門の**カウンセラーによる相談日**を設け、今年度は延べ13名の学生、教員が利用した。相談室を利用せず、自己にてメンタルクリニック等を受診している学生もあり、把握に努めている。
- ・経済的な問題を抱えている学生も一定数在籍していることから、日本学生支援機構等が運営する**奨学金制度**（給付・貸与）を積極的に紹介し、希望者に対しては申請書の作成支援や運営主体への推薦を行った。
- ・成績優秀者と皆勤者については、卒業時に**表彰**を行った。
- ・昨年まで行っていた茶華道部とスポーツ部のサークル活動が現在は休止状態のため、今後は学生の意向を確認しながら自発的な取組への支援をしていく。

5) 教職員の育成

資料 23～24

評 価 項 目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の抱えている課題をふまえた職場内研修を行っているか。 ・学会又は研修会に参加した成果を他の教員に還元する仕組みがあるか。 ・教員が計画的に臨床実務研修に参加できるように支援しているか。 ・教員の授業を他の教員が参観・講評できる体制を整えているか。 ・教員が計画的に研究調査活動を行えるよう体制を整えているか 	2.7

評価点：よい5 ややよい4 普通3 やや不十分2 不十分1

- ・職員会議を活用し、セキュリティ対策などの職場内研修を行った。また**学会・研修に参加**した教員は、教務会で伝達講習を実施している。
- ・臨床実務研修については、領域が変更となった在宅看護論担当者が2か所の訪問看護ステーションで実施し、講義・実習に活かすことができた。
- ・2年目教員に対しては、プリセプター教員を決め計画的に支援を行った。毎月の評価を行い、教職員間で情報共有をしながら、全職員で育てていくよう支援をしている。
- ・今年度より**キャリアラダー**を導入し、校長・教務主任と共に現在の立ち位置を確認し、各自目標を明確にすることができた。
- ・岐阜県看護学校教育機関連絡協議会主催の授業参観を当校で実施、また他校での授業参観に4名の教員が参加した。学内での**授業参観**の取り組みや看護研究は行えておらず課題である。

6) 管理運営・財政

評 価 項 目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> ・予算計画・年間行事計画を策定し適正な予算執行・進行管理を行っている。 ・学生や教職員等の人権・個人情報について十分な対策がなされているか、また、学生、教職員に対してそれらの徹底を図っているか。 ・災害などの非常時の危機管理体制が整備されているか。また、防犯・交通安全意識の向上に努めているか。 ・学校運営に学生の意見が反映されるように努めているか。 	3.7

評価点：よい5 ややよい4 普通3 やや不十分2 不十分1

- ・年間計画に基づき、計画的に予算・事業執行を行っている。

- ・学校が保有する個人情報については、「岐阜県情報セキュリティ対策基準」に従い管理している。
- ・個人情報保護は、学生へ繰り返しの指導を行うとともに、実習の記録やメモ帳の管理については、詳細なルールを決め、それに従い管理している。現在問題となっているソーシャルメディア利用の注意点については、学校生活案内に明記し、年度初めのガイダンス、各実習前のオリエンテーション、解剖見学前のオリエンテーションなど、機会あるごとに指導を行っている。
- ・学生の防災意識を高めるよう、年度初めに防災訓練・防災に関する講話を行っている。さらに防犯・交通安全については、機会あるごとに担任より働きかけを行っている。元年度は学校祭で、多治見警察署から講師を招き「若者に多い犯罪とその対処方法」について講演をしていただいた。
- ・元年度に学生へのメールの一斉送信や個別の送受信の仕組みを整備することができた。今後はさらに災害時の対応の際、これらの仕組みを活用して迅速・的確な取組を進めていきたい。
- ・学生の意見・要望を聞くために提案箱の設置をしている。また、入学時アンケートの実施、さらに今年度より学生生活実態調査、学生による学校評価を実施した。学生の意見・要望については運営会議、学校評価委員会において対応を検討し、速やかに対応した。

7) 施設設備

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の安心・安全が確保されているとともに障がい者の利用に配慮された構造になっている。 ・教育目標達成に必要な施設設備及び教材が整っているか。また、学生の自主的な学習の場が確保されているか。 ・学生のための福利厚生施設・設備は整っているか。 ・図書室は利用しやすく学生に十分活用されているか。 ・実習室は学生数に応じたスペースが確保され、必要な備品設備が整い十分にその機能を果たしているか。 	2. 9

評価点：よい5 ややよい4 普通3 やや不十分2 不十分1

- ・耐震基準は満たしているが、障がい者の利用ができるようにはなっていない。
- ・昨年度は学生用の椅子を更新、今年度は2年生・3年生の学習机を更新し、次年度5月には1年生の学習机も更新予定。また、第1・第2教室、実習室の黒板のホワイトボード化など、学習環境の整備に取り組んでいる。しかし設備については、トイレは数が少ない上に洋式便器は各階1か所しかなく、教室の窓に網戸がついておらず、授業中に虫が入り授業が中断するなど不都合があり、学生からの改善要望も多い。
- ・教育目標達成に必要な備品の購入については、毎年計画的に実施してはいるが、多くの備品が老朽化や陳腐化が目立つなど、今の医療が学べる備品の整備が課題である。
- ・学生が自由に使用できるように、多目的ホールや図書室を開放したことで、利用学生は増加している。しかし図書室の蔵書が少ない、内容が古く必要とする物がなかなか無いという学生からの意見もあり、ICT環境を含めた図書室の充実を進めていきたい。

8) 社会貢献、地域活動

評価項目	評価点
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の存在を周知するためホームページ、携帯サイトをはじめとした積極的な広報活動をしている。 ・地域社会の一員として、地域への広報・貢献・奉仕活動・連携の工夫を行っているか。 	2. 9

評価点：よい5 ややよい4 普通3 やや不十分2 不十分1

- ・ホームページ委員により、学校行事終了ごとに、情報の更新は行っているが、見やすい、興味を持てるようなホームページの充実が課題である。
- ・地域活動としては、学生会主体の清掃ボランティアに取り組んでおり、学校祭を利用して、実習病院及び通学路、学校周辺の清掃を毎年行っている。また学生は実習施設での夏祭りのボランティア、教員は近隣中学での職業講話などにも参加している。
- ・学校祭等の学校行事への地域住民の参加については行っていない。

4 総合的な評価

本年度に定めた組織目標は、本報告書に記載したとおり概ね実施できており、目標達成できていると評価する。また、評価項目の達成及び取り組み状況は、5)教職員の育成、7)施設設備、8)社会貢献、地域活動を除き、適切に実施していると評価する。

— 以 上 —